

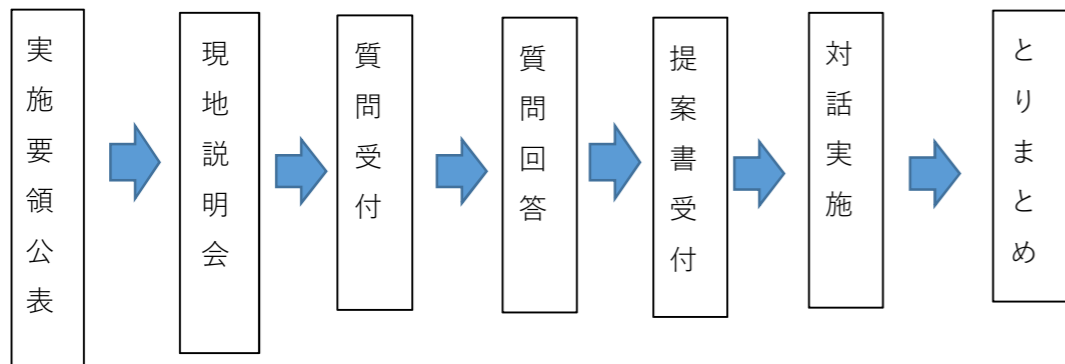
1. 調査の背景・目的

ロクハ公園プールのリニューアルについては、民間事業者の創意工夫を取り入れた魅力的なレジャープールを市民に提供するため、PFI等の官民連携手法の導入も視野に入れ、検討を進めています。

本調査は、ロクハ公園プールの再整備および公園全体のにぎわい創出にあたり、民間の創意工夫による官民連携手法の導入について、本市が想定する事業条件の実現性を確認することを目的としています。

	対話型 (前回)	公募型 (今回)
事業方針	非公表	公表
募集方法	市により選定	HPでの公募
実施期間	1ヵ月	3～4ヵ月
実施方法	対話 (1時間程度)	提案書に基づいた対話

2. 調査の流れ



※参加者には参画する場合の業務範囲や想定される導入機能及び活用方策の概要、望ましいと考えられる事業スキーム等について、記載した提案書を提出いただきます。

※民間事業者との対話を行うことで、参画に向けた条件や提案内容について聞き取ります。

※今回の調査は、当該事業を官民連携で進めるか否かの最終判断をすることを主目的としており、具体的な事業内容やイメージ図、パース図が必ず提出されるものではありません。

3. 対象企業

「市場ニーズ調査 (公募型) 実施要領」に基づき、参加申し込みがあった企業

4. 市場ニーズ調査 (公募型) 実施要領 (案) の構成

項目	内容
1. 調査の趣旨 (P1参照)	事業背景、事業概要 (目的等)、調査目的
2. 事業対象地等の概要 (P2～P8参照)	草津市及び事業対象地の概況
3. 事業方針 (案) (P9～P17参照)	現状・課題、基本方針、市がロクハ公園プールの再整備に求める条件 (導入施設 (必須機能・任意機能) 及び最低限の整備水準等)、業務範囲、事業スケジュール、事業スキーム等
4. 市場ニーズ調査 (公募型) の流れ (P18～P20参照)	調査スケジュール、調査対象者、現地説明会の開催、実施要領に関する質問の受付、対話の参加申込、提案書の提出、申込先、対話による調査の実施、対話結果の公表等
5. 提案を求める内容 (P21参照)	<ul style="list-style-type: none"> ● 業務範囲について →参画する場合の役割・業務範囲等に関する提案 ● 導入機能及び活用方策について →導入機能やソフト事業 (イベント等) に関する提案 ● 事業スキームについて →望ましいと考える事業スキームに関する提案 ● 事業費・事業期間中の収支計画について →事業実施に当たっての事業費や収支計画に関する提案 ● 本事業への参画意向について →事業条件を踏まえた本事業への参画意向の確認
6. 留意事項 (P22参照)	調査にかかわる留意事項、問い合わせ先

5. プール再整備方針の考え方

- 再整備に向けた基本方針
「地域に愛されるレジャープールとしての機能維持と魅力向上」
- 再整備に向かっの基本的な考え方
 - ① 現在の機能・施設を維持し、整備中の草津市立プールとの機能の棲み分けを行う。
 - ② 施設の劣化や汚れを改善する。
 - ③ 満足度の高い流水プールやスライダープールの機能を活かし、魅力向上を図る。
 - ④ 小さな子どもが水と触れ合える施設や飲食店、休憩スペースなどの機能を導入する。
 - ⑤ 今後も継続的に運営が可能となる方策を導入する。

官民連携手法を進めるにあたっては、「民間の提案余地を限定しない範囲で、市がロクハ公園プールに求める最低限の条件 (=譲れない範囲)」を示すことが重要であると考え、上記の基本方針や基本的な考え方に基づき、導入機能を「必須機能」と「任意機能」に分類し、最低限の整備条件を記載しています。

【必須機能・任意機能の考え方】※詳細は、実施要領 (資料 2) 参照
○必須機能：必ず提案いただく必要がある機能 流水プール、スライダープール、管理棟 (トイレ・更衣室等)、休憩スペース、プールサイド、飲食施設
○任意機能：導入するかどうかを含め、民間提案に委ねる機能 幼児用遊水プール、アトラクションプール、25mプール、芝生広場、その他民間提案によるプール